

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公開番号】特開2010-131988(P2010-131988A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2009-251786(P2009-251786)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 103 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月15日(2012.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを備えるインクジェット記録装置において、

インク滴を吐出させるために圧力発生手段に印加する駆動信号が、圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第1のパルスを有する吐出パルスと、を含み、

前記予備パルスはパルス幅が2AL (ALは圧力室における圧力波の音響的共振周期の1/2)以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを用いたインクジェット記録方法であって、

圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第1のパルスを有する吐出パルスと、を含む駆動信号を圧力発生手段に印加してインク滴を吐出させる工程を有し、

前記予備パルスはパルス幅が2AL (ALは圧力室における圧力波の音響的共振周期の1/2)以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

1. 圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを備えるインクジェット記録装置において、

インク滴を吐出させるために圧力発生手段に印加する駆動信号が、圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第1のパルスを有する吐出パルスと、を含み、

前記予備パルスはパルス幅が2AL（ALは圧力室における圧力波の音響的共振周期の1/2）以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録装置。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

12. 圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを用いたインクジェット記録方法であって、

圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第1のパルスを有する吐出パルスと、を含む駆動信号を圧力発生手段に印加してインク滴を吐出させる工程を有し、

前記予備パルスはパルス幅が2AL（ALは圧力室における圧力波の音響的共振周期の1/2）以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録方法。